

発行所

静岡県高等学校障害児学校教職員組合  
〒420-0004 静岡市葵区末広町1-4  
高教組新聞編集委員会  
http://www.s-koukyousho.jp/  
e-Mail info@s-koukyousho.jp  
TEL (054) 254-6900  
FAX (054) 254-0814  
Facebook:「静岡高教組」で検索

第497号  
2024年  
5月24日

高教組しんぶんは組合費とカンパによって発行されており、全教職員に配布しています

# あなたも高教組へ

2面・静岡県母親大会  
・憲法のつどい



## 「このままでは学校がもたない」 — 春闘教育長交渉 —

春闘教育長交渉を、4月26日に行ないました。高教組からは7名が参加し、県教育委員会は池上重弘教育長、教育部長、教育監、参事、担当課長等が交渉に応じました。

### 給特法 ・多忙解消について

先日公表された中教審の給特法改正案に対して、教育現場では失望が広がっています。教職調整額引き上げが多忙解消につながるわけもなく、逆に「定額働かせ放題」を助長する恐れもあります。私たちが、給特法改正定数増を国に要望するよう求めたのに対し、教育長は「給特法については中教審の議論の推移を見守る」と、消極的な姿勢に後退しました。

### 視座

プロスポーツ選手になった教え子が、勤務校で講演をしてくれました。テーマは「レジリエンス」折れない心、立ち直る力。アマチュア時代の輝かしい実績を掲げ、鳴物入りでプロの世界に入った彼ですが、現在は、プロになって最も苦しい時期を迎えていました。出場機会をなかなか得られず、もがきにもがいている最中とのこと。技術面や体力面だけでなく、メンタル面でもそうとう追い込まれているようでした。こんな状態で講演ができるのか、自問自答が続いたそうです。そして、こんな時期だからこそ、今しか話せない辛い現状と心境を晒す決意をしてくれました。彼が語ったのは、自分の弱さに寄り添うことでした。強みを出すには、弱みを出すことも必要です。弱みは、自分の力だけでは克服することができません。他者に助けを求めなくては解決できないから、弱みを出さないから弱みなのです。他者に助けを求めることも強さ。助けを求めることも、予想以上に周りは助けてくれることに気づき、また困難に立ち向かえるようになったと言います。人間は猛獣より弱く、だからこそ、仲間と助けあうことで生存競争を生き抜いてきました。「だからこそ」思考です。ネガティブなところがある。だからこそ、ポジティブに変換できるように思考するんです。顔がそれぞれ違うように、弱みもそれぞれ強みもそれぞれ。だからこそ、人間は助けあえ、助けあうチームこそ強くなれるのです。理想の職員室は、弱みを見せあえる場所。人事評価など気にせず、武勇伝ではなく、失敗談が飛び交い、助けあえる学校がいいなあ。

冒頭、深田委員長は再任用の酷い扱い事例をとりあげるとともに、今年度の最大の課題は、「給特法」改正だと発言。その後、3月に提出した「春闘要求書」の重点項目に対する文書回答を受け、交渉に入りました。給与の引き上げについては賃金引上げ要求に対しては、「人事委員会の勧告尊重、国や他の都道府県の動向を注視し、適切に対応」という従来通りの回答。厚生労働省が9日発表した3月の毎月勤労統計調査(速報、従業員5人以上)によると、現金給与総額

に物価の変動を反映させた実質賃金は、前年同月比2.5%減少。24か月連続の減少で91年以降で過去最長となりました。昨年今年と春闘のたたかいが、賃上げを引き出していますが、物価上昇に及ばないのが現状。高教組が加盟する公務労組連絡会は、地方公務員、教職員の賃金労働条件の改善を求めて、全国人事委員会連合会(全人連)への要請をはじめ、各地の人事委員会が労働基本権の代償機関としての責務と役割を果たすよう求められています。

また、教育長は「時間外在校等時間が月45時間を上回る割合が増えていることは把握している。財源に余裕がないので、県教委のイニシアチブでできることを把握している。財源に余裕がないので、県教委のイニシアチブでできることを把握している。財源に余裕がないので、県教委のイニシアチブでできることを把握している。

「働くものの団結で生活と権利、平和と民主主義、憲法を守ろう」  
大軍拡・大増税ではなく、  
くらしと社会福祉の充実を  
自民党政権に！  
大幅賃上げを  
5・11メーデーに県内900人が参加

### 主張

浜松特別支援学校は、浜松市の中央区を学区とする、知的障害を主とする児童生徒の通う学校です。現在小学部から高等部までで約300名が在籍、教職員は約200名が勤務しています。

東日本大震災での甚大な津波被害を目の当たりにし、特に宮城県石巻市の大川小学校の悲劇から特別支援学校関係者は浜松特支の一刻も早い、安全な、内陸部の高台への移転を願っています。

### 浜松特別支援学校 建替えではなく、 安全な場所への移転を

浜松市中央区江之島町にあり、遠州灘海岸から900m、海拔38mに立地し、馬込川も近いので、南海トラフ巨大地震など発生時には軟弱な地盤の沈下・液状化、津波被害が予想されます。大雨時の天竜川の氾濫浸水区域でもあります。

昨年秋に教育長も視察に来て、「障害を持った生徒を引率しての避難を想像しながら屋上まで歩いてみた」とは言っていました。被災後の生活への対応なども現実的に想定されているのか

「働くものの団結で生活と権利、平和と民主主義、憲法を守ろう」  
大軍拡・大増税ではなく、  
くらしと社会福祉の充実を  
自民党政権に！  
大幅賃上げを  
5・11メーデーに県内900人が参加

「働くものの団結で生活と権利、平和と民主主義、憲法を守ろう」  
大軍拡・大増税ではなく、  
くらしと社会福祉の充実を  
自民党政権に！  
大幅賃上げを  
5・11メーデーに県内900人が参加

避難訓練でも全員が町にあり、遠州灘海岸から900m、海拔38mに立地し、馬込川も近いので、南海トラフ巨大地震など発生時には軟弱な地盤の沈下・液状化、津波被害が予想されます。大雨時の天竜川の氾濫浸水区域でもあります。

静岡県特別支援学校後期整備計画でも浜松特支は移転の対象に挙げられています。しかし、今年1月の能登半島地震の記憶も新しい年度末、2024年2月13日付で、「現在の場所、校舎の建て

「働くものの団結で生活と権利、平和と民主主義、憲法を守ろう」  
大軍拡・大増税ではなく、  
くらしと社会福祉の充実を  
自民党政権に！  
大幅賃上げを  
5・11メーデーに県内900人が参加

「働くものの団結で生活と権利、平和と民主主義、憲法を守ろう」  
大軍拡・大増税ではなく、  
くらしと社会福祉の充実を  
自民党政権に！  
大幅賃上げを  
5・11メーデーに県内900人が参加

# 「共に生きるとは何か

## 「難民の声、家族の歴史から考えた多様性」

### フォトジャーナリスト 安田菜津紀さん

## 第61回 静岡国母親大会

5月12日(日)、浜松市福祉交流センターで、第61回静岡国母親大会が開催され、各地でもオンラインで配信されました。



### 講演要旨

フォトジャーナリストと は、写真を通じて現状を伝える仕事。

母親大会は、1954年のビキニ被災がきっかけで始まった。水爆実験の被害を二度と出さないようにするために。しかし広島と平和教材から「はだしのゲン」や「第五福竜丸」に関する記述が削除され、なかつたことさ

れようとしている。このような中、「共に生きる」とは何か、一緒に考える機会にしたい。2022年2月24日、ウクライナへのロシアが軍事侵攻開始。昨年2023年10月7日、パレスチナ自治区のカザを実効支配する

ハマスによる攻撃への報復のため、イスラエル軍がガザを攻撃、約1,200人が犠牲になった。ハマスの攻撃自体、決して擁護されるべきものではなく、戦争犯罪は適正に裁かれるべきだが、断片だけでは本質は見えてこない。

2018年2月に、ガザを訪問。自治区では美しい自慢の海でも漁のできる範囲は制限され、超えれば捕まるか撃たれる。ガザ地区は、面積は名古屋市くらいだが、難民キャンプに人口が集中、豊島区池袋の7〜8倍の人口密度。インフラ整備が不足し、汚水が川を経由して海に流れるので、美しく見える海も汚れている。

「天井のない監獄」とも言われ、特に若者の失業率は70%超。不平等、不均衡などの構造的暴力にさらされている。今後は私からできることをしたいと思



14歳のシャヘッドさんは、「日本から文房具やカバンを支援してもらって励まされた。今度は私からできることをしたいと思



報道では、時間経過とともに被災の状況も数値化してしまいが、対価、お返しとしてではなく「自分には何が出来るか」考える姿勢に感銘を受けた。10月7日の侵攻以来、連絡



が途絶え、今は安否の確認ができない。

内戦の続くシリアには大学生時代に訪問、安定して温かく迎えられる史跡や美しい光景、夜景など一番美しい場所だと思

2010年の「アラブの春」に刺激され、独裁政権に対する抗議デモ発生、武力弾圧を契機に内戦が始まり、不発弾やおもちゃのような小さな爆弾が散在し、子どもが拾い上げると爆発。

8歳のサラさん。突然の砲弾炸裂で一緒に遊んでいた兄は即死、その友達は片目損傷。自身は右足切断、左足も骨が粉砕され、隣国の病院に入院。日本人に伝えたいことはと聞

めた人たち、そして私たち。日本はどうか、何が出来るのか

「76人」：これは2021年の日本の難民認定者数。申請に対する認定率は0.7%。あの排他的なトランプ政権でも30%。

シリアの難民、ジュネーヴ。反政府デモへの弾圧を見て疑問に感じ支援。身

の危険を感じて日本へ避難。「命の危険を示す客観的証拠の提示」を求められ、不認定。たとえあつたとしても出したら問い合

平和で安定した日本で娘さんは日本で生まれたが、「出生地主義」ではないので日本国籍になれず「無国籍」。

父と兄が亡くなり、大學生の時にパスポート申請のための戸籍に「韓国籍」の文字。父は在日コリアン二世である。母に聞くと、多くは語らなかつたが、父は出自で苦しんだ様子。1947年、外国人登録令施行。日本国憲法で日本人から除外され。1952年発効のサンフランシスコ講和条約により、朝鮮半島出身者は日本国籍をなく奪された。



父は飲食店経営。早い帰りの時に、絵本を読んだとせがんだが、すらすらと読めない。「もういい、変だよ、日本人じゃないみたい」と言ってしまった。その時の父の顔は、一生忘れられない。

父は「核も選択肢の一つ」と発表。「人間動物」と称し、人としてみていないからできること。差別の放置が戦争につながる。争われている場を気に掛けること。集会などで学び語り合い、伝える側、知らせる側になつてほしい。平和への岩盤のような重い扉が開いていくはず。

最近報道されるようになったが、誰かをいじめることにする、それが平和国家日本に伝えている。日本の外国人政策は、生活、人権の主体としてではなく、管理、監視、治安維持の対象の観点からしか見えていない。これは私の家族。母と

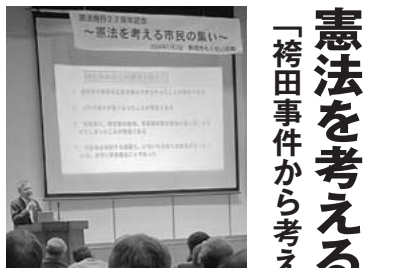
におしかけ、「スパイの子」も「日本から出て行け」などと子どもたちを恐怖におとしつけ、「日本浄化デモ」と称し、「空気が汚れるから朝鮮人は息をすするな」などのヘイトスピーチを浴びせた。

なぜ父が自分の出自を語らなかつたのか、自分の子どもにも伝えなかつたのか、その理由の一部が、ここにある。父は(私や兄に)差別される経験させたくなかつた、差別を見せられたくなかつたのだろう。

2016年5月、「ヘイトスピーチ解消法」成立。2019年12月刑事罰付きの「ヘイトスピーチ禁止条例」を川崎市が全会派一致で条例化。ハルモニたちが、「やっとな川崎市民になれた」と作文に書いた。しかし、2020年1月、「抹殺する」と爆破予告の年賀状が届き、以降、職員が手袋をつけて年賀状を検査することになった。

いまの日本は、時代は変わった、と言える社会になつていくか。2023年11月、イスラエルは「核も選択肢の一つ」と発表。「人間動物」と称し、人としてみていないからできること。差別の放置が戦争につながる。争われている場を気に掛けること。集会などで学び語り合い、伝える側、知らせる側になつてほしい。平和への岩盤のような重い扉が開いていくはず。

「憲法を考えると市民のつどい」  
「袴田事件から考える冤罪の原因と対策」



憲法記念日の5月3日、静岡市内で「憲法施行77周年記念」憲法を考えると市民の集い」が開かれました。オープニング企画では篠笛にのせた朗読劇が上演されました。

ここ何年かの講演では、憲法「改正」や平和主義がテーマでしたが、今回は5月22日に再審公判の結審をむかえる袴田事件が取り上げられました。

「袴田事件から考える冤罪の原因と対策」の演題で袴田事件弁護団事務局長の小川秀世弁護士が講演しました。公判については、検察官の有罪の立証を阻止できなかったことや長期化したことが残念であると述べました。

次いで、冤罪袴田事件の原因について、写真なども示しながら詳しく解説しました。①犯人は複数犯であること②犯人は被害者の知人であり、被害者の就寝前に家に入り込んでいたこと③殺人の目的はお金ではないこと④犯人らは、被害者らを拘束し、かつ声を出さないようにしたうえ刃物で刺すなどしたこと⑤犯人らは、事件後、みそ工場と従業員

寮とは反対方向に逃げたこと。これらの事実から、袴田さんが犯人でないことは明らかだとします。

にもかかわらず、警察は最初から事実や証拠を隠し、証拠を捏造しています。その目的は捜査が真犯人に及ばないようにして、逮捕させないようにしたとしか考えられない、と怒りをにじませました。

こうした冤罪の温床となっているのは、捜査手続きが警察官しか関与しないものが多く、それが適正に行われたか否かについて、後から検証する方法がないといった、警察が犯罪をしやすいつシステムが最大の問題だと指摘しました。

したがって、警察官の犯罪を防止するためには、何よりもビデオ撮影により捜査全体を客観的に記録することで後の検証を可能にすることだと強調。また、取り調べだけでなく、逮捕、捜索、差押、実況見分、鑑定なども含みます。ビデオ録画が導入される点の衣類の捏造などもありえませんでした。最後に、袴田事件の無罪判決に際し、捜査機関による証拠隠し、証拠捏造行為が行われたと認定されることを願う。それが制度を変え冤罪をなくする力になるはずだと講演をむすびました。